

令和5年8月7日

各町内会会長・自治会長 様
(公衆衛生推進委員)

古市学区公衆衛生推進協議会
会長 大久保 薫

「公衆衛生推進委員だより（第41号）」の送付について

晩夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から公衆衛生推進活動について、ご理解とご協力、並びにご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「公衆衛生推進委員だより（第41号）」が発行されましたので一部お送りさせていただきます。



公衆衛生推進委員だより

編集 発行 特定非営利活動法人 広島市公衆衛生推進協議会 広報委員会 委員長 宮尾 英夫
 広島市中区富士見町 11-27 TEL&FAX 082-243-7400
 E-mail : koueikyou@y5.dion.ne.jp http://www.koueikyo.org/

❖ 3年ぶりに開催！第55回公衆衛生推進委員大会 ❖

広報委員会 委員長 宮尾 英夫



昨年10月28日に、コロナ禍で3年ぶりとなる第55回広島市公衆衛生推進委員大会が西区民文化センターで開かれた。この大会は、広島市公衆衛生推進委員としての自覚を高め、地区衛生組織活動（コミュニティー活動づくり）の推進と併せて、永年にわたり、この運動に寄与した個人と団体の

方々の功労をたたえ、表彰式を行うのが趣旨である。

大会には来賓として、広島市から松井一實市長、母谷龍典市議会副議長、各区長、後援団体の代表者らが出席、139学区（地区）の推進委員約220名が参加した。新型コロナウイルス感染症の影響により、2年間中止を余儀なくされた推進委員大会だが、今年度は規模を



半分に縮小し、開催することができた。

開会にあたり鉄村会長は、「推進委員の皆様には日頃から環境美化に関心を抱いてもらいながら、公衆衛生に関わる各種事業にご尽力いただきありがたい。今後も明るい町づくり活動に力を注いでいきたい。」とあいさつがあり述べられた。

この後、永年にわたり地区組織活動に従事し、公衆衛生の向上発展に積極的に取り組み功績をあげられた個人

90名と1団体の栄誉をたたえ、松井市長と鉄村会長から表彰状、感謝状及び記念品が贈られた。

松井市長は挨拶で、「市の諸課題に積極的に取り組み、ご貢献頂き感謝しております。」と喜びを述べられた。

最後に、活動中間報告と、大会宣言で「健康で明るく快適な住みよいまちづくりの実現を目指し、より積極的に、かつ効果的に公衆衛生諸活動に取り組む」ことを申し合わせ、満場一致で採択され大会を終了した。



❖ 2022 コロナ禍での献血推進活動 ウルトラマンも応援しています。❖

吉島東学区献血推進協力会 会長 高 広 義 明

吉島東学区献血推進協力会では、毎年、晩秋に献血推進活動を実施しています。

今年度は11月17日から30日までの2週間を吉島東学区の献血週間と定め、初日の17日(木)に献血の呼びかけやご案内、ティッシュ配りを行いました。午前10時から午後3時30分まで、総勢7名で取り組みました。



献血ルーム「ピース」に集合した際には、8名ぐらいの献血者が椅子に腰かけくつろいでおられました。比較的朝早い時間にもかかわらず、献血者が多いことや30代40代と思しき方々ばかりで少し驚きました。

ルームの課長さんがご挨拶に来られ、コロナ禍での献血推進活動に感謝の言葉をいただきました。現在、このところの新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、広島県内での献血への協力者が減少しており、特に、成分献血への協力者が激減しているとのことで、2,000人余りが

不足していると話されていました。

ちょうど吉島東学区が街頭活動した時期は、11月初旬から徐々に増加していた時期で、午前中は人通りが少なく苦戦しましたが、午後からは打って変わって人出が増え、予定どおり配布することができました。

献血週間中には、61名もの学区の皆さまから尊い命を救う献血にご協力をいただくことができ、心からお礼を申し上げます。

先日(12月16日)献血ルーム「もみじ」の前を通りかかると、ウルトラマンも献血を応援していました。

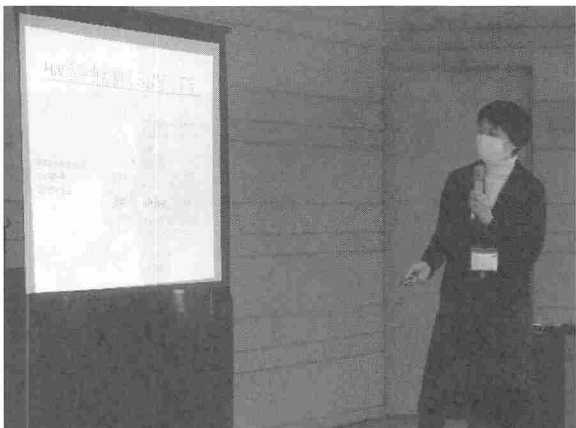


❖ 2022年『12月1日世界エイズデー啓発街頭キャンペーン』の実施 ❖

東区公衆衛生推進協議会 副会長 奥 田 勝 治

広島市東区公衆衛生推進協議会と広島市東区役所厚生部・保健センターはコロナの影響を受けた年を除き平成26年より『12月1日 世界エイズデー』にエイズ啓発キャンペーンを実施しています。

本年は公衛協14名、東区役所厚生部から6名。さらに新規で東区役所と広島女学院大学、比治山大学、比治山大学短期大学部との間で締結している「地域連携協力に関する協定書」に基づき、ボランティア依頼をした中から広島女学院大学生生活デザイン学科3年生2名の参加があり、総勢22名で取り組みました。



まずはキャンペーン実施前に講師東保健センター長による「エイズについての基礎講習」を受け、続いて東保健センターでH I V無料検査実施会場を見学。エイズに関する正しい知識の習得を図り、エイズの普及とまん延防止、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に非常に寒い中では有りましたが、会社や学校帰りの若い世代の往来が比較的多い広島駅ペデストリアンデッキにおいて、「啓発用パンフレット」を配布しました。

今後も引き続き東区役所厚生部・保健センターとタイアップし、キャンペーンの継続を図ってまいります。



❖ 五日市東学区「公衆衛生部会」の活動について ❖

五日市東学区公衆衛生推進協議会 会長 高 島 嗣 典

五日市東学区においては、特段に創造的な活動をしているわけではありませんが、地理的な条件を踏まえた活動をひとつ紹介いたします。

その前に、簡単に組織体制をご紹介しますと、推進委員全員の中から町内会ごとに1名が選出され、合計9名で「公衆衛生部会」という組織を設置しています。

佐伯区公衛協の活動として、区民ウォーキング大会（健康ウォークラリーin植物公園）や佐伯区河川クリーンキャンペーン、佐伯区不法投棄・散乱ごみ防止推進キャンペーン等があります。これらは佐伯区推進委員が多数参加し、協力して行うものですが、「公衆衛生部会」については、本学区の中で「健康教室」と「環境講座」を中心に取り組む活動としています。

会長が部会を開催し、年間計画に基づいて研修(学習)を実践するというものです。以下にあらましを記載します。

- 第1回・部会員の自己紹介、事業内容、年間計画等について
- 第2回・環境保全(折り畳み式ごみ収集枠の設置条件と手続き、貸与制度・補助金制度・道路占用許可届等（未設置の町内会に回覧等で広報活動を実施）)
 - ・平和公園清掃の参加体制について
- 第3回・環境保全(公園の啓発看板について設置条件と維持管理課管財係との連携)
 - ・学区の公園10箇所の設置状況調査(町内会ごとに保全状況調べを実施)
- 第4回・健康教室(健診サポーター養成講座の目的と意義、生活習慣病、糖尿病等の予防)
 - ・佐伯区元気じゃけん講演会参加の呼びかけと広報活動の実施
- 第5回・環境保全(区・公衛協・環境との連携における不法投棄・散乱ごみ防止推進運動)
 - ・参加の呼びかけと参加体制の確立
- 第6回・環境講座(空き缶・ペットボトル拾い等、年末の清掃活動について)
 - ・各種団体の呼びかけと参加体制の確立
- 第7回・健康教室(献血日について)血液の重要性/血液の需要と供給/若年層対策の研修
 - ・第2回献血重点日の実施

その中で、「空き缶・ペットボトル拾い・年末の清掃活動」は、主として西広島バイパスの法面を、両面約500mに渡って清掃するというものです。本学区は6町内会と3町内会の間をバイパスが走っているという特徴のある地形なので、法面の清掃が欠かせない状況にあります。毎年多数の空き缶やペットボトル等の投げ捨てがあるので、「年末の大掃除」とでもいったところでしょうか。

このように公衆衛生部会として、「環境講座」と「健康教室」を軸に、研修(学習)と実践の2本柱で年間活動に取り組んでいます。まだ他の団体や町内会との連携を密に取っていく等、課題は多々ありますが、地道に前向きに進めていく所存です。



❖ 令和4年度表彰受賞者 ❖

厚生労働大臣表彰（公衆衛生事業功労者）、広島県知事表彰（公衆衛生地区組織活動功労）及び広島市長表彰（地区衛生組織活動功労）を次の方々が受賞されました。誠にありがとうございます。

厚生労働大臣表彰



中区袋町学区
会長 吉澤 秀雄

公衆衛生推進委員に就任して23年、その間、地域の皆様のご理解と、ご協力をして頂き多くの活動を実施することが出来ましたことを、感謝申し上げます。今後とも、充実した活動を実施する所存でございますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



佐伯区五日市中央学区
会長 鉄村 忠基

公衆衛生推進委員に就任し、22年。今まで数多くの行事を実施することが出来たのも、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。今後も充実した活動を実施してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

広島県知事表彰

東区福田地区	会長 辻 秀司	安佐南区大塚学区	会長 平岡 稲實
安芸区中野地区	推進委員 溝上 勤	安佐南区八木学区	推進委員 山田 仁恵
佐伯区湯来地区	会長 福橋 賢司		

広島市長表彰

高田 諭（袋町）	黒田 秀昭（袋町）	東 正照（福田）
熊原 寛治（尾長）	原田 幹太（尾長）	新藤 剛（仁保）
灰田 靖睦（仁保）	山中 正雄（比治山）	大谷 基彦（元宇品）
小川 弘之（段原）	藤田 雅則（庚午北）	渡部 幸男（三篠）
上岡 訓三（山田）	堂面 知之（山田）	藤槻 克己（古田）
安井 道子（井口明神）	大久保 薫（古市）	小松 良彦（瀬野）
下河内 善信（瀬野）	道村 義憲（阿戸）	寺西 博（五日市中央）
高島 嗣典（五日市東）	岡田 博義（石内）	

敬称略（ ）は所属する学区（地区）

❖ あとがき ❖

広報委員長 宮尾 英夫

昔、中国の有名な陶芸家が、「雨過天晴」という言葉を残しています。わが国で言う、日本晴れのような、真っ青な空の色彩を、茶碗に写せないかと、何年も掛けて試行錯誤しながら努力を重ね、やっと念願の澄み切った青色茶碗が誕生したといえます。

139学区(地区)の推進委員4,000人余りを数える、わが公衆衛生推進委員も、河川、海、さらに平和記念公園周辺の清掃、散乱ごみの追放運動などを推進し、「きれいな都市づくり」に奔走した功績で、第55回広島市公衆衛生推進委員大会で、松井市長、及び鉄村会長から個人90名と1団体が表彰状を手にし、「雨過天晴」を証明した証になりました。受賞者の皆様につきましては、誠にありがとうございます。

また、今年の5月に、広島市で開かれる主要国首脳会議（G7サミット）に向け、宇品港などを中心に、推進委員ら約140名が参加する予定の「ごみゼロ・クリーンキャンペーン」に一段と力を入れ、世界から参集するサミットスタッフを受け入れようではありませんか。

今回も寄稿して下さった皆様、ありがとうございました。